

## 薬が進歩し続ける理由とそれに伴う影響とは

3年2組20番 福井 晴登

3年2組27番 村東 蒼磨

3年5組10番 奥村 煌

keyword:「薬」「ワクチン」「薬の進歩」「医療」「病気」

## 1.はじめに

新型コロナウイルスの拡大により、薬やワクチンの重要性がとて大きな話題となった。過去の疫病、例えばスペイン風邪の事例を考えると、薬が行き届かない地域で多くの死者が出た。この例と比べ、現在のコロナウイルスでは死者数、感染者数共に割合で考えると、とても抑えることが出来ている。この要因を我々は薬の進歩、つまり薬の進化によるものだと考える。そこで私たちは薬の進化や特効薬の課題に関心を持ち、薬の普及と供給格差の解消に向けた探究を行い、経済格差がある地域への薬の供給策について考える。

## 2. 序論

近年、保健医療問題は国境を越えた広がりを見せている。例えば、交通手段が発達して、国際交流が活発になると、新型インフルエンザやエイズのような新型感染症が瞬く間に世界に広がる。人類がこの問題を解決するには地球規模の連携と協力なしには解決することは出来ない。そのため勝間田実三は「途上国の問題は、地域、国内の問題にとどまらず、グローバルな視点で解決を考えなければならない。」(勝間田実三『途上国における医療格差是正に関する研究』2013年)と述べていた。近年の医療問題は国際的な視点から解決を求める必要がある。交通手段の発達や国際交流の増加により、コロナウイルスなどの新型感染症は迅速に広がり、人類全体が直面する課題となっているのである。この問題を解決するには、国境を越えた連携と協力が不可欠だ。途上国の医療格差は地域や国内の問題にとどまらず、地球規模の視点で見つめ直すべきだ。国際社会が協力し、持続可能な医療システムを構築することで、世界中の人々が健康で安全な環境で生活できる未来が実現できるだろう。私たちはこのような医療問題に対してグローバルな視点で解決策を考えなければならないと思う。では医療問題とは具体的にどのようなものがあるのか。

まず医療問題では特に、途上国地方部では感染症の結核が疾病類の上位を占めている。結核症が完治するまでには長期間疾病が必要である。治療費だけでなく病院の入院、滞在費を含めると高額なコストがかかる。一方、完治しなくても、生活資金のため、ある程度病状が良くなると通常の生活に戻る。しかし、実態は他人に感染する危険を防ぐためには継続治療が必要であるが、治療費の捻出が難しく治療を続けられない患者が出る可能性が高い。こうした病気の治療は、政府が補助金によって支援するなり、医療サービスの提供に介入しない限り、個人が支払える医療費と乖離が拡大してしまう。このことにより、富裕層と貧困層との医療格差が生じてしまう。すなわち、途上国では感染症予防対策がより重視されるべきと従来から指摘されている通りである。さらに、近年の社会経済状態の向上に伴い、衛生状態などが改善されていくと、従来型感染症は減少することが考えられるが、医療の進歩や栄養状態の改善により、寿命が伸び、高齢者が多くなるとともに、疾病内容も生活習慣病の慢性疾患が増加する傾向にある。

このように医療問題はたくさんある。その一つで薬が行き届かない地域があることだ。私たちは、発展途上国と先進国の医療の格差が大きいため、薬が行き届かない地域があると考えているが、勝間田実三はそれに加えてお金の部分の関係して医療が受けられない地域がある、だから医療の格差という問題があると考えていて、勝間田実三の考えと私たちの考え方に相違点が見つかった。

また薬を作るには莫大な費用がかかるだけでなく長い開発期間が必要なことから、人件費や材料費など多くのコストがかかる。そして途上国では治療費だけでなく病院の入院費、その他家族の滞在費も含めるとさらに多額のコストがかかることになる。それにより治療費の捻出が難しく治療を続けられない患者が多く存在しているという現状もある。病気やけがの治療などで大切な役割を果たす薬は、病気やけがを治療するなどの効果・効能がある一方、副作用というリスクを併せ持つものだ。薬を飲むと、本来の目的とは別に、眠気やのどの渇きなどといった副作用が起こる可能性がある。重い症状では死に至ることもある。反対に良い効果を持つ薬もある。厚生労働省(2021年)によれば結核患者として登録された人数は11519人で前年より1220人減少している。これは薬が進歩したからだと考えている。なぜなら、時代に伴って薬も難病や感染症などに対応しているからだ。

私たちが医療の格差が問題だと考える理由は、SDGs(持続可能な開発目標)の中で貧困をなくす、すべての人に健康と福祉を、という目標が掲げられ、それらに医療の格差が該当しているからだ。一概には言えないが、医療の格差が改善されなければ感染症は無くならないだろう。医療の格差をなくすにはどうすれば良いのか。地域医療を連携させたネットワークの構築、テクノロジーを活用した遠隔医療の活用が医療格差をなくすための解決策としてあげられる。

まず、地域医療の連携が不可欠だ。地域ごとに異なる医療資源やニーズを調整し、共同で対処することで、医療の均等な提供が可能となる。地域社会の特性を理解した上で、必要な医療機関や医療従事者の配置を最適化し、地域住民が安心して医療サービスを受けられる環境を整えることが求められる。さらに、テクノロジーの活用が医療格差の解消に大きく貢献することができる。遠隔医療は、世界を繋げ世界のあらゆる地域の住民にも高度な医療を提供できる手段である。ビデオ通話やオンライン診療を活用した遠隔診療は、簡便で迅速な医療アクセスを可能にし、健康格差を縮小する。

これらの取り組みは、地域社会と国際社会が連携し、医療の格差をなくすための基盤を築く上で不可欠である。医療の均等な提供は、健康で豊かな社会を築くための基本であり、SDGsの実現に向けた大きな一歩となるだろう。

私たちはこれらの事柄や、仮説について調べるために、奈良県立国際高校3年生を対象にアンケートを行った。

### 3.本論

薬の進歩は現代社会において非常に重要な問題であり、その理由は多くある。まず第一に、新しい病気や感染症が常に出現している現代社会において、効果的な治療法やワクチンの開発が不可欠である。新型のウイルスや抗生物質に対する耐性菌の蔓延など、新たな脅威が現れることで、それに対応する新しい薬剤の必要性が高まっている。そこで奈良県立国際高校3年生を対象に3つのアンケートを行った。

まず一つ目は、「薬が進化していくことに何かデメリットはあると思うか?」という質問に対して、あるが49.4%、ないが50.6%という結果が得られた。この結果から、薬が進化することに関して意見が分かれている。デメリットがある人とそうでない人がほぼ半々であることがわかる。デメリットがあると答えた人々は、薬の進化によって健康へのリスクや副作用が増える可能性を懸念しているのかもしれない。一方、デメリットがないという意見の人々は、薬の進化が新たな治療法や健康向上の機会を提供する可能性を期待しているのかもしれない。

次に二つ目の「薬が進歩すると人の免疫などが弱くなると思うか?」という質問に対して、はいが39.1%、いいえが21.8%、わからないが39.1%という結果が得られた。結果から鎮痛剤、解熱剤、消炎剤、睡眠薬などは症状を緩和させる一方で免疫力を低下させる副作用があったことが分かった。よって、薬は病気の症状などを和らげる一方で免疫力を向上させるとは言えない。

三つ目の、「薬によって生活の支障が出て、その薬を変えたことがありますか?」という質問に対して、「はい」と答えた人の割合が17.2%で、「いいえ」と答えた人の割合が82.8%であった。つまり、薬による生活の支障を感じて薬を変えた経験がある人は少数派であり、大多数の人はそのような経験がないということが分かる。また、「差し支えが無ければ副作用がしんどかった薬、

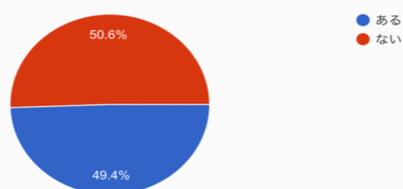
注射などを教えてください。」という質問に対しては、コロナウイルスのワクチンや強い花粉の薬が多く回答された。

この調査結果から、薬の進歩に関する意見は分かれており、デメリットを懸念する人々と新しい治療法や健康向上の機会を期待する人々が半々ほどであることがわかる。また、薬の進歩が免疫力を低下させる可能性についての認識が広がっており、特定の薬剤が症状を和らげる一方で免疫力を低下させる副作用を持っていることがわかった。さらに、薬により生活の支障を感じて薬を変えた経験がある人は少数派であり、大多数の人はそのような経験がないということが分かった。だが、薬によっては副作用を感じるものもある。コロナウイルスのワクチンや強い花粉の薬が例として挙げられた。

さらに、薬の進歩は医療の効率性を向上させ、医療費の削減にも寄与する。効果的に治る療法や予防策があれば、患者は病気の進行を防ぎ、入院や手術の必要性が減少する。これによって医療資源の効率的な利用が可能となり、医療制度全体の持続可能性が向上する。研究と開発の推進は新しい薬剤の発見につながり、医学の知識や技術の進化を促進する。以上のような理由から、薬の進歩は現代社会において不可欠であり、医学研究と薬の開発に対する継続的な投資と支援が求められている。また、薬の進歩に対する私たちの認識を見つめ直し、私たちは薬の進歩に対する誤った認識を持った人々に薬の進歩に伴う影響などを伝えるべきだと考える。

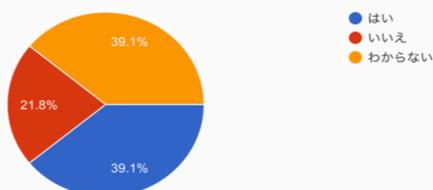
薬が進化していくことに何かデメリットはあると思いますか？

87 件の回答



薬が進化すると人の免疫などは弱くなるとおもいますか

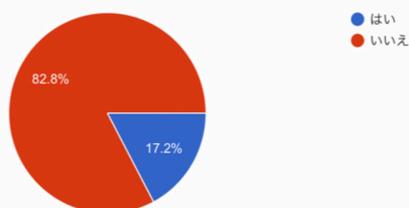
87 件の回答



薬による生活の支障が出て、その薬を変えたことがありますか？

例:花粉症の薬を飲んでしたが、飲むと眠くなるので他の花粉症の薬に変えたなど

87 件の回答



#### 4. 結論

薬の進歩は医療の質と効果を向上させることができる。新しい治療法や薬品が開発されることで、難治性の疾患や病気の治療において希望が生まれるかもしれない。これにより、社会はより健康で幸福な生活を送ることができるかもしれない。また薬の進歩は医療費や保険の負担にも影響を与える可能性がある。新しい治療法や薬品はしばしば高価であり、医療費の増加をもたらすことがある。社会は、新しい医療技術を導入する際の費用や経済的な影響について議論する必要があるかもしれない。薬の進歩による社会の反応は、文化や地域によって異なる可能性がある。しかし、一般的には医療の質の向上が期待されるが、同時に経済的問題に対する議論も重要になるだろう。

#### 5. おわりに

薬の進歩は医療の質と効果を向上させ、難治性の疾患や病気の治療に希望をもたらす一方、経済的影響を引き起こす。新治療法や薬品の高額さは医療費の増加を招き、社会は財政的な負担を懸念する。社会の反応は文化や地域によって異なるが、医療の質の向上と経済的問題に関する議論が不可欠だ。

#### 6. 参考文献

パンデミックを生きる指針:歴史研究のアプローチ 藤原辰史

兵庫人権問題研究所2020

掲載紙情報 <https://iss.ndl.go.jp/books/R100000002-1000007876655-00> 最終閲覧日

2023/12/22